

イーハトーブCOREハイスクールネットワーク構想

別添資料4

目的

教育の機会の保障と教育の質の保証を柱としつつ、地域における学校の役割を重視した魅力ある学校づくりと高校を核とした地方創生に向けた取組を、ICTを活用して広域的に展開・実施し、1学級校を含む小規模な学校においても、生徒の進路希望の実現に対応できるよう、本ネットワークによる研究を通して教育環境の整備を進め、地域を担う人材を育成するための知見を得ること。

背景

- 生徒数が減少する中、岩手を担う資質を有する生徒の育成及びより良い教育環境の整備を目指し、平成28年3月に10年間の「新たな県立高等学校再編計画」を策定し、県立高等学校全日制課程を再編制。1学年1学級の学校9校を存続するなど、地域の状況等を考慮した学びの選択肢を確保した。
- 1学年3学級以下の小規模な学校の割合が増加しており、今後、教員の数が減る中で、多くの学校において教育の質を確保することが課題。そのため、進学や就職等、生徒の多様な進路希望の実現に対応できる科目設定等の教育環境の整備が必要。
- 持続可能な地域社会の形成に向けて、地域の状況に対応した人材の育成と、その人材を地域に還元することが急務。そのため、地域資源を活用した取組等により地域社会の魅力を生徒に伝え、自立した社会人・職業人として必要となる能力や、主体的に進路を選択できる能力を身に付けることができる教育環境の整備が必要。

1. 遠隔事業に関する取組の概要

遠隔授業に係る研究の実施

【令和4年度の成果】

- 構成校5校で延べ6科目の単位認定を伴う遠隔授業を実施
- 遠隔授業の指導法と評価方法を研究、検証

【令和5年度の取組】

- 科目数を増加した遠隔授業の実施
- 遠隔授業の指導法と評価方法の深化

配信・受信は、「Microsoft Teams」を活用

2. 地元自治体等の関係機関と連携・協働する体制の構築に関する取組の概要

各構成校間の連携体制を構築し、中山間地域に特徴的な、オンライン配信等の活用による、地域の教育資源等を題材とした探究的な学びの実践

【令和4年度の成果】

- 学校間連携のための体制整備
- これまで取り組んできた探究的な学びの深化

【令和5年度の取組】

- 探究活動発表会の開催
- 遠隔システムによるコンソーシアム間の協働

3. ネットワークを構成する学校

県北、県央、県南、沿岸、県西の各地区の中山間地域に位置する小規模校から、これまで地域と協働した取組について実績のある学校により編制

〈配信拠点FIRセンター〉

岩手県立総合教育センター内

〈構成校〉

- ①葛巻高校（県央部）、②西和賀高校（県西部）、③花泉高校（県南部）、④山田高校（沿岸部）、⑤種市高校（県北部）

